

人と音を結び  
Classic Nagoya  
クラシック名古屋  
〒460-0024  
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F  
TEL(052)678-5310 FAX(052)678-5330  
https://clanago.com

プレイガイド  
アイ・チケット  
0570-00-5310

# ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO  
①舞台イベントの企画制作・マネージメント  
②芸術コンサルティング  
③タレントのマネージメント  
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社 マネージメント・プロ  
〒461-0004 名古屋市中区東区2-11-22 アバンテッジビル301  
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097  
E-mail: mane-pro@mane-pro.com  
HP: http://www.mane-pro.com

## 松岡伶子バレエ団が創立70周年

11月30日 芸術劇場大ホールで記念公演

### 新国。プリンシパル迎え「白鳥の湖」

松岡伶子が主宰する「松岡伶子バレエ団」が創立70周年を記念、11月30日(午後5時)愛知県芸術劇場大ホールで「白鳥の湖」(ナターシャ・ボリシヤコフ版)を上演する。同一主宰者による「70周年」は極めてまれで記念公演のチケットは残りわずかになっている。



監修・松岡伶子



白鳥・小野純子



黒鳥・御沓紗也



前回(2017年)「白鳥の湖」出演者

### 立ち上がり、ピアノに突き動かされ

#### 「ジャンソンの扉」

200 佐藤 奈菜

クラシック、ポップス、ジャズなど幅広いジャンルを弾く佐藤奈菜。

ピアノには3歳から触れていたが、大きくなったの大学院終了後に聴いた「ビー・ジョー・アデル」。「自由でエレガントで個性豊かな音楽。70代からブレイクした彼女を知り、自分の夢は80歳を超えてもピアノを弾き続けることになった」と話す。



「元気になる演奏を」と語る佐藤

自身の演奏は「体が小さいので、熱が入ってくと立ち上がって弾くことも。ピアノに突き動かされて、自分も観客も元気になる演奏」と話す。

作曲を始めたのは7年前。「偶然街で女性が理不尽な目に遭いショックを受けている姿を見て傷ついている人、悲しんでいる人を癒やしたい」という。

エルムは、観客としても好きな場所。「集中して音楽、心を聴ける空間」と話す。

「多くの人に癒しを届けたいので、曲がいろいろな場所であらうれしい。今もピアノが楽しくなり続けているので、健康に80歳を超えてもやりたい」と笑う。

「聞き手・竹本真哉」

### バルトン奥村晃平 スペシャルリサイタル

11月22日 電気文化で「ブラームスの歌曲」



奥村晃平(バリトン)

「歌手・奥村よりも、作曲家・ブラームスの作品に魅力を感じていただければ本望です」。11月22日(午後2時)電気文化会館でスペシャルリサイタル「ブラームスの歌曲」を開くバリトン歌手・奥村晃平である。

「四つの厳粛な歌」は、ブラームスが密かに愛したクララ・シューマンに捧げた愛の歌。「リサイタルの核心として全精力を込めて歌い上げたい」と意気込む奥村だ。

ピアノ演奏は、ドイツ人の父、日本人の母から誕生したマリオ・ヘリングで、奥村とは初共演になる。歌曲はすべてドイツ語だが、字幕ではなく、音楽家が俳優の荒川洋子がナレーターとなり、それぞれの曲に込められた作家の思いを語り上げる。

全自由席 4,000円(当日500円増し)。TEL 0570(00)5310(アイ・チケット)。

子バレエ団」として第1回の公演を行った。バレエ団は復興の時流



名古屋市中東区上社3-1903  
052-739-6155  
OPEN 11:00-19:00(水曜日は17:00まで)

また松岡はクラシックの全幕作品だけではなく、創作にも力を注ぎ舌切雀「鶴の恩返し」(アブナヨ木からおりてこい)「幽玄」(羽衣)ほかを上演。中でも88年に初演した「あゝ野麦峠」は原作の叙情性を美しい演出構成で描出。大好評を博し再演を重ねている。

「名古屋市芸術特賞」ほかを受賞。各種の舞踊コンクールでも多くの入賞者を輩出。「松岡バレエ」の名は全国に浸透した。

さて記念公演「白鳥の湖」は、66年にバレエ団初の全幕ものとして愛知文化講堂で上演した思い出深い作品。今回はオデット姫に小野純子(新国立劇場)、ジークフリート王子に奥村康祐(同)を迎え、松岡伶子の監修、松岡璃映、市橋万樹の再振り付けで上演する。

共演は御沓紗也(オデイル姫)、碓氷悠太(悪魔ロットバルト)、南野高廣(道化)、パド・トロワの山下実可、兵藤杏、竹中俊輔ら総勢74人が出演する。演奏は稲垣宏樹・指揮の中部フィルハーモニー交響楽団。

チケットは、残数わずかのため、バレエ団TEL 052(933)5360まで問い合わせを。

BALLET・NEXT 2026

## 落葉と薔薇

夜之部 百花繚乱 之巻  
昼之部 花鳥風月 之巻

作 市川 透

2026年1月18日(日)

昼 花鳥風月 開場 11時30分 開演 12時00分  
夜 百花繚乱 開場 16時00分 開演 16時30分

アマン芸術創造センター名古屋

A席8,500円(1階指定席) B席6,500円(2階自由席) ◎当日券 全席500円UP  
※1才未満の入場はご遠慮ください。4才以上はチケットが必要です。

◆チケット発売期間/2025年11月1日(土)~2026年1月15日(木)  
◆チケット取扱/チケットぴあ(Pコード/537-632)、セブンイレブン  
BALLET・NEXT公式ホームページ

TEL/FAX 052-779-0756 Mail: bn-info@studio-move.net  
後援: 愛知県文化振興事業団 名古屋市中文化振興事業団

名古屋市民コーラス

オーケストラとの共演で大曲に取り組み名古屋市民コーラスが11月20日(午後6時45分)市民会館フォレストホールで第52回の「ミサ曲ハ長調」。管

回定期演奏会「安寧への祈り」二つのミサ曲を通してを開く。

曲目はコダーイが第二次大戦中に避難所で書き上げた「ミサ・プレヴィス」と、四声の独唱が加わるベートーヴェンの「ミサ曲ハ長調」。管

弦楽は齊藤友香理・指揮の名古屋フィルハーモニー交響楽団。独唱は小林史子、谷田育代、大久保亮、伊藤貴之。全指定S席(完売)、A席4,000円、B席3,000円、C席2,000円。TEL 090(172)13715。

ロマン派の巨匠

## ブラームスの歌曲

スペシャルリサイタル

2025. 11.22(土) 14:00開演

ザコンサートホール  
名古屋・伏見・電気文化会館

全自由席(税込) 4,000円  
当日: 4,500円

■ 愛の歌  
わが妃よ、そなたはなんと永遠の愛

■ 朝とセレナーデの歌  
日曜日  
セレナーデ

■ ブラームスの名曲  
調べのごとく  
五月の夜

■ 少女の歌  
少女の囁き  
お前の青い瞳

■ ブラームスの至宝の歌  
「四つの厳粛な歌」ほか

バリトン | 奥村晃平  
ピアノ | マリオ・ヘリング  
語り | 荒川洋子

プレイガイド  
アイ・チケット 0570-00-5310 https://clanago.com/i-ticket  
芸文プレイガイド 052-972-0430



## 今井智景クロスバウンダリー 「ルネサンスハープの革命」

12月6日愛知県芸術劇場

愛知を拠点に国内外で活躍する現代音楽家・今井智景による「クロスバウンダリーXIII ルネサンスハープの革命」[DMM NUTIONS]が12月6日(午後2時30分)、県芸術劇場小ホールで開催。

「クロスバウンダリー」は音楽を通して新しい領域と出会い、境界線を広げる機会を作るレクチャー&コンサートシリーズ。毎回一つの楽器に焦点を当て、名曲や新作の演奏と斬新な映像・美術で魅力を伝える。



©Atumi Fujita

「写真」を、ドイツから奏者を招き紹介する。今井を含めた現代の作曲家4人が、古楽器の新たな可能性を引き出すことに挑戦。今井は「アンティークの再生とイノベーション」と位置付けている。出演は、今井、マクシ



ミリアン・エアハルト(ヒストリカル・ハープ)、小原道雄(チェンバロ)。映像製作は稲田優太。一般2500円、学生1500円、未就学児入場不可。https://crossboundary13.peatix.com

度肝を抜いた石原弘恵の『全身全霊』ダンスパライスを、私はこれまで安易に

舞台批評

ミュージカル

# キミのために散る 2025

『キミを愛した 偽りなきときに、悔いはない』  
青年は、なぜ「回天」に乗ったのか—  
(人間金魚)

原作・作詞:あおい英斗  
作曲・編曲・指揮:宗川諒理夫  
上演台本・演出:田尾下哲

5日 大田翔(Sirius) スーザン 奥村育子  
6日 スーザン 鈴木玲奈  
田中俊太郎(Sirius) 堀江綾乃  
松波千津子 梅原忠美 他

2025年12月  
1日 5日 18:30開演 (18:00開場)  
2日 6日 15:00開演 (14:30開場)

会場:メニコンシアターAoi  
愛知県名古屋市中区葵三丁目21-19 Menicon Theater Aoi Bld.内

チケット料金(税込)[全席指定]  
一般 前売 6,000円/当日 6,500円  
高校生以下 3,000円(前売り・当日ともに)

※高校生以下は当日証明書を提示ください ※未就学のお子様の入場はご遠慮ください。  
※売り切れの場合、当日券はありません。 ※公演により出演者が異なります。

主催:日本新作ミュージカル制作委員会 特別協賛:株式会社メニコン  
後援:名古屋市教育委員会、公益財団法人名古屋都市文化振興事業団、株式会社エフエム愛知  
制作:メニコンビジネスアシスト(MBA) イベント・クリエーション部

メニコンビジネスアシスト(MBA) イベント・クリエーション部  
Tel.052-935-1630 受付時間 平日10:00~18:00

KDA 55th ANNIVERSARY

かやの木芸術舞踊団 かやの木芸術舞踊学園

創立55周年記念公演

小椋 佳 音楽による 和太鼓ミュージカル

# Ponta ポン太

1997年初演 国の児童文化財 認定  
小椋佳作詞作曲による和太鼓のあるミュージカル「ポン太」  
ためきの「ポン太」と主人公「リン」との心温まるストーリー  
“神打ち”という和太鼓をめぐる“友情”や“人を思いやる”  
といった今の時代に大切なメッセージを訴え掛けます

25.12月13日(土) 公演① 16:30~ 全自由席  
14日(日) 公演② 10:30~ ¥6,000  
公演③ 15:30~ (当日¥6,500)

可児市文化創造センター・アール 好評発売中!

【問い合わせ】かやの木芸術舞踊学園公演事務局 ☎0573-65-3702  
〒508-0045 中津川市かやの木町4-17 http://www.buyou-kayanoki.com/

純真無垢な5人の少女、胸に染みる岡田健太郎の音楽。作・演出の川村ミチルが、原爆投下された広島を斬新な切り口で劇化した。劇団天白月

## 純朴な演技と清純な歌唱に感動



「～チンチン電車を走らせた女学生」  
夜の第7回公演「青春の向こうチンチン電車を走らせた女学生」(9月27、28日・天白文化小劇場)である。運行中に被爆した広島市の電車を運転していたのは、

次々と戦地に召集される男子に代わり訓練を受けた広島電鉄家政女学校の生徒だった。物語の前半は、運転士見習いの5人の生徒によってコミカルに繰り広げられる。演じたのは安田萌、玉

若手では石川雅美門下の西川海亜、生田万莉絵、河合瑛美が堅実なダンスを見せた。東京から参加した11人の熟年女性グループ「チェリーズ」は

※ダンスケイト(バレエ&ダンス用品)※  
～移転しました～

オンライン  
Instagram: @danceskaito  
Twitter: @danceskaito

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-15-23  
10階(1015号) ★ライオンズマンション栄公園 10F

公演後の打ち上げで、女学生役の子たちが涙を流しながら、自分の言葉で想いを語ってくれました。その中には、小学生の頃から

「ダンスパライス」(9月15日・芸術創造センター)で設立70周年記念公演「ダンスパライス」(9月15日・芸術創造センター)で

終演後に強く印象に残ったのは、悲惨な被爆の情景ではなく、5人の少女たちの清純な魂と、ひた向きで逞しい生命力だった。実に巧みな川村の演出だった。

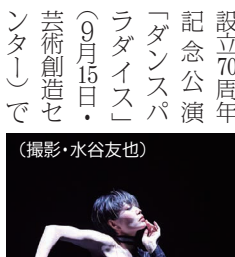
「～チンチン電車を走らせた女学生」の素晴らしさ。5人の街(てら)いのない歌声は、ストリートに私の胸に突き刺さった。後半は原爆が投下された後の壮絶な市街地の描写が展開された。しかし

上で立ち上がり、原爆投下後の街を見渡す彼女のまなざしの中に、確かに「ヒロシマ」が映っているのを感じ、背筋が震える思いがしました。

公演後、お母さまが目をして赤くしながら「おっちゃんいました」「あの子は演劇と出会って、自分を取り戻しました」

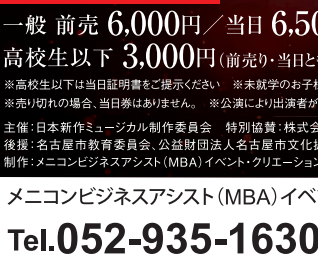
た。(川村ミチル)

親も祖父母も、戦争を知らない世代の少女たちがこの舞台を通して戦争や平和について真剣に向き合い、自分の中で何かを見つけたようでした。



石原弘恵「死の舞踏」

使い過ぎていた。石原弘恵のソロダンス「死の舞踏」を見てそう思った。現代舞踊協会中部支部の設立70周年記念公演「ダンスパライス」(9月15日・芸術創造センター)で



(撮影・HATORI Naoshi)

踊りながら語り合う奇抜な演出  
ゆらゆらクネクネと動きながら、せりふを語る6人は、どうやら審査員らしい。「ダンスはダンサーのものか、あるいは振付家のものか」「ダンスはグルーブである」「いやダンスは液体である」などと論議は白熱する。

「審査員のダンス」  
「ダンスの審査員のダンス」という奇妙な公演が行われた(9月19・21日・県芸術劇場小ホール)。作、演出は演劇界の奇才・岡田利規。出演はダンサーの中村恵恵、酒井はな、島地保武、入手杏奈と俳優の矢澤誠、ミュージシャン小林うてな。6人。

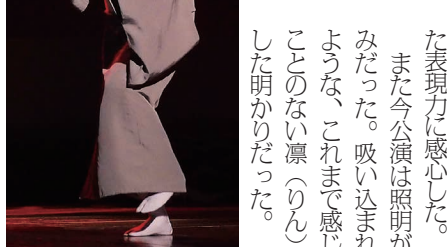
新作挑戦!意欲を見せた宗家寿子  
内田流舞踊会  
日本舞踊内田流(家元・内田有美)の第72回「舞踊会」(10月5日・市民会館ビレッジホール)で、2題の面白い作品に出合った。内田より千鶴の「天神さん」と、宗家・内田寿子の創作「寂く建礼門院」だ。

前者は一奏(ひとかなで)と称されるジャンル作品。タヌキの「勘違い」をコミカルにつづったもので、るり千鶴は嘶

振付家のものか」「ダンスはグルーブである」「いやダンスは液体である」などと論議は白熱する。

家が落語を語るように、言葉ではなく熟練の技巧で物語を描き上げた。後者は平清盛の娘・徳子(建礼門院徳子)を題材に、「平家物語」の文節を引用。平安時代の、あれ荒んだ世界、世界した人々への鎮魂の思いを、

現代の世界情勢に重ね合わせて描出した。寿子が新作を踊るのは久しぶりのこと。衰えぬ意欲と年輪とともに深みを増した表現力に感心した。また今公演は照明が巧みだった。吸い込まれるような、これまで感じたことのない凛(りん)とした明かりだった。



宗家・内田寿子

ある。つまり作品の良し悪しは、「審査員」でもある観客に委ねる、というオチである。

前作「ジゼル」のあらずじ」と同じく、ダンサーにせりふを語らせる岡田の奇抜な演出である。ダンサーたちが、面白がって演技しているのは分かるが、私の「審査員は「物足りない」だ。(野)



体は熱く、心の奥底は冷えていく

エネミー・オブ・ザ・サン

国際芸術祭「あいち2025」は、開幕から優れた作品が相次いだ。バゼル・アッバス&ルアン・アプラーメが、新栄のクラブを会場に行った「エネミー・オブ・ザ・サン」(9月13・14日)は、強く記憶に残った。

戦火により消され続ける危機にあるパレスチナの風景を撮影。映像、テキスト、サウンドにより、「パレスチナの現在」を観客に体感させた。映っている建築物はもちろん、地形すら次に訪れた時には失われているかも知れない。そして文化や歴史ごと消えてしまうかもしれない。音楽に体は熱くなり、しかし心の奥



パフォーマンスを披露。出演予定だったハイカルは、米国外出国できずオンラインで音楽と意思を届けた。

アッバスとアプラーメは現代美術展にも参加。クラブや美術館のような異なる文化空間、そこに集う多様な人々全て

脳と肉体の捻れた関係性を表現

態変「ブレイン」

国際芸術祭「あいち2025」で、態変が「ブ



エネミー・オブ・ザ・サン(撮影・相模友士郎)



態変「ブレイン」(撮影・相模友士郎)

「ブレイン」を上演(芸術劇場小ホール、9月26〜28日)。メンバー全員が身障者である態変は、這いつくばる身体表現で見る者の美意識や価値観を揺さぶってきた。今回のテーマは脳。その指令から外れてしまうという彼女らの肉体で、脳と身体が捻じれた関係性の来歴を描き出す。

太古の海での生命や意識の萌芽、陸地へ上がる肉体的変化などを次々に表現、ダンサー達の動きや意志を込めた視線は、生命はもろろん、海の深さ、死の

にリーチし、リアルを伝え、忘却に抗おうとしている。彼らの表現が世界に響くことを切に願う。(竹本)

ドラマを見るような久保田の歌唱



久保田道子(ソプラノ)

は2000曲を超える。今回のプログラムは38曲。歌詞はすべて日本語である。この曲も大中の作品だったのか...「大中はこんな曲も書いていたのか...」。彼

の偉大さを改めて実感した。日本語で歌うのだから、曲に込められた作家の心情を明確に伝えてほしい。それを最も的確に表現したのは、名古屋在住の作曲家・山岸千代栄による「初めての恋」海

の息子を送る母の心情が切々とつづられる。久保田の歌唱には、ドラマを見ていたような説得力があった。

二期会のレジェンド山口雅子さんが歌った「トルコ枯梗」には、若い女性の恋心が凝縮された。さすがの歌唱、さすがの(大中の)名曲である。

美しく揺れる深遠なヴォイス



名フィルと共演する青木

能音楽・青木涼子

近ごろ、家人が謡(うた)の稽古を始めた。おか

げで私も能に関心を持つようになった。そんな折、名フィルが定演(9月5日・芸術劇場コンサートホール)で小出雅子

作曲「Junction on」(世界初演)を出した。ソリストとして登場したのが青木涼子。謡(うた)と現代音楽を融合させ



ディーナ・ヨッフエ

た新ジャンル「能音楽を立ち上げ、世界的に活動を展開する才人である。小出によれば「Junction on」は、能の「定家」朝吹真理の短編小説「植物人間」の2作に共通する「虐げられた女性」がモチーフとか。謡と管弦楽だけでなく、朗読やラジオのチューニング音、気泡緩衝材を指でつぶすプチプチ音などを取り入れた複雑奇抜な現代

愛知県立芸大7人の教え子と共演

音楽である。私に理解できたのは、青木の美しく深遠なヴォイス(謡)。艶やかな揺れを伴い、低く地を這う独特の唱法は、一級のオペラ歌手にも匹敵する魅力があった。青木のステージを見て、能に興味を持つ人が増えるかも。

何より驚いたのはヨッフエの音の美しさ。演奏者によって変化するピアノの音色である。発見もあった。県立芸大でクラシックを学び、米国バークリーでジャズを学んだ風呂矢早織の挑戦的な演奏。この日はモーツァルトの「ピアノソナタ」を自身の「ピアノソナタ」を自身のジャズアレンジで披露し喝采を浴びた。(茂)

◆出演者トーク◆



稲熊佐江子

世界的ピアノリストで恩師のディーナ・ヨッフエ先生と、県立芸大時代の門下生で2台のピアノを演奏するコンサート。3度目の今回も参加させていただきました。(稲熊佐江子)

11 sat 29 open 15:30 start 16:00 charge 4,500yen +Drink ◆当日整列順入場

MEN'S CHANSON LIVE KAYA / LE CHATEAU DE BAIN / 杉戸丈

vol.2

ヴィジュアル系シャンソン歌手による シャンソン・ライブ第2弾!

Cafe Concert ILLUM

TEL 052-733-0085 〒464-0856 名古屋市中千種区吹上2-4-5

間奏曲

室内楽集団「レーベイン」が、12月22日(午後2時、6時30分)アーク栄サロンホールで、ベートーヴェンの室内楽全曲シリーズ第1回を開く。

室内楽に限られた作品しか聴く機会がない。数十年前聴いてきた私も生で初めて聴く曲が少なくない。以前のグルーブ・アンディアーモの時代からラヴェル、ブラームス、フォーレ、シューマン、プーランクときて、いよいよベートーヴェンか、と期待

私たちは「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します

- 青山 皆江 蟹江 尾八 戸田美江子  
秋田昌子 神谷久美子 中川 幸作  
荒川 洋子 北村 哲也 仲条 優理  
飯田みち代 工藤寿々弥 夏目 久子  
出田 光代 佐藤 典子 名鶴ひとみ  
伊藤 修 佐藤美智子 西川 長秀  
伊藤 敬 佐野 和美 野々山保治  
伊藤 直樹 澤脇 達晴 野村 祐子  
稲垣 舞比 白樺 八重 花咲 市岡  
衣斐 愛 夢とほる 花柳 磐優  
今村 早伽 杉江 瑞美 林 雅仁  
内田 寿菊 鈴木 幾子 福井 啓子  
内田 寿千代 鈴木久美子 瀧本晴都子  
内田 寿晴 鈴木 文雄 松波千津子  
内田のり子 須山 仁美 松本 道子  
内田のり美 角田真優美 見波 紀子  
大寺 資二 高倉 麻耶 宮西 圭子  
岡田 一男 武市 孝三 山口 雅子  
岡崎 保彦 竹元まき子 吉田 尚弘  
小倉ひろこ 田淵友佳理 よしみゆこ  
小野由加利 玉田 弘子 渡部 千枝  
加藤 静子 つつみあつき ほか  
金澤 志保 手塚 淑子
- 和光写真/徇テス・大阪/徇三光/Hide Dance Lab./徇ビデオ教映社/松岡伶子バレエ団/エス・エー企画/Office KAN  
NORIKO BALLET STUDIO/かやの木芸術舞踊学園/春日井市日本舞踊協会/メリー・アーティスト・カンパニー/関山スタジオ  
特定非営利活動法人日本室内楽アカデミー 理事長 佐々木伊利子/ミュージカルアカデミー-KAO/(一社)復曲能を観る会  
フィルハーモニー・ウィーン/名古屋/明珠会 山村栄乃/川島ナナバレエ研究所/スマイル・ミュージカル・アカデミー  
Rose Ballet Academy/越智インターナショナルバレエ/Rrバレエスタジオ 杉江瑞美/一般社団法人イタリア音楽振興会

会員募集

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6600円(税込み)。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面に名前を掲載(希望者のみ)。会員の関係する公演、イベント情報を優先的に掲載させていただきます。

【お申し込み、お問い合わせ】  
㈱マネージメント・プロ  
TEL 052(508)5095  
郵便振替口座 00880-6-206130



**齋藤華香** KAKO SATO  
フルート・リサイタル  
 flute Recital

11.24 月 14:30  
15:00  
熱田文化小劇場  
18歳以上

プログラム  
フルートとオーケストラの音楽 Op.117  
フルートとオーケストラの音楽 Op.118  
フルートとオーケストラの音楽 Op.119

**中川 朋子** Tomoko Nakagawa  
ピアノ・リサイタル  
 Piano Recital

12.12 日 19:00 開演 (18:30 開演)  
ザ・コンサートホール  
18歳以上

プログラム  
ショパン：ピアノの練習曲 Op.10  
ショパン：ピアノの練習曲 Op.10  
ショパン：ピアノの練習曲 Op.10

**DIVA CHRISTMAS CONCERT**  
Musica Nuova JAPERA

2025年12月13日(土) 14:00 開演 (13:30 開演)  
ザ・コンサートホール  
18歳以上

プログラム  
イタリアの音楽  
イタリアの音楽  
イタリアの音楽

**上原宏の**  
☆音楽☆  
聴き歩き

岩間美奈「マリンバのリサイタル」(8月28日・HITOMIホール)は、マリンバの可能性を追求した。



**奏法を駆使し意欲的な演奏で魅了**  
マリンバ 岩間美奈

一般にはあまり知られていないマリンバ。一言で言えば大きな木琴だ。当然、有名な曲もない。アメリカのジョセフ・シエラントナー「ヴェロシティーズ」から、さま

ざまな奏法で、ジェイコブ・ドランクマン「水の反映」は印象派のような響きが魅力的だった。西村晃平「バヴァーヌ」マリンバのための「は若手作曲家だが、マリンバの奏法を駆使した意欲作で印象的。

最後のケヴィン・ブツ作品はヴァイオリン猪子奈津子、クラリネット滑川敬一との三重奏。繊

細な序盤から後半の高まるクライマックスまで息詰まるようなアンサンブルで聴き応えがあった。

ヴァイオリン江頭摩耶、ヴィオラ叶澤尚子、チェロのアイリス・レゲヴが共演した。

フィンランドと言えばシベリウス。その「ヴァイオリンとピアノのための5つの小品」「ピアノのための樹木の組曲」も珍しいが初めて聴いた

のがワーノ・クラミ「ピアノ四重奏曲」。情熱的で激しい曲だが、4人の巧みなアンサンブルで盛り上がった。

後半はトゥリアーゴ作品でヴァイオリンとピアノのデュオ、ピアノソロと今年の新作「ピアノ四重奏曲」チャコナ「の3作品も現代だが親しみやすい。最後は不思議な響きで新鮮だった。

深みのある緻密なアンサンブルに十分満足した。

**ANA CROWNE PLAZA AN ING HOTEL HOTEL GRAND COURT NAGOYA**  
— デビュー50周年記念 —  
**千住 真理子**  
クリスマスディナー  
コンサート2025  
(ピアノ：山岡 智)  
(ソプラノ：野々村 彩乃)

名器が紡ぐ甘美な旋律  
歴史的な名器ストラディヴァリウス「デュランティ」との出会いは23年。ヴァイオリニストとしてデビュー50周年を迎える千住真理子の、滑らかで美しく心満たされる調べを。オープニングアクトはソプラノ野々村彩乃が華やかに飾ります。ホテル特製ディナーとともに心行くまでお楽しみください。

**2025.12.21(日)**  
受付 5:00p.m.～ / 食事 5:30p.m.～ / コンサート 6:45p.m.～  
(会場) 7F大会会場「ザ・グランコート」◎会場内は禁煙です。  
(料金) **¥23,000** (洋食コース料理・フリードリンク・税金・サービス料込)  
(曲目) ○黒人霊歌：アメジシング・グレイス ○J.S.バッハ：G線上のアリア  
○カッチーニ：アヴェ・マリア ○デ・カッティス：千住 明編：「静かなる夜」  
○カタロニア民謡：鳥の歌 ○モンテ：チャルダッシュ  
○クラウスラー：折る女＜マルティニの模写による＞  
○ドヴォルザーク／クライスラー編：我が母の教え給いし歌  
○アイルランド民謡／クライスラー編：ロンドンデリーの歌  
○プッチーニ：歌劇「トスカ」より「星はきらめき」  
○トーマス・ウェルズ／千住 明編：ザ・クリスマス・ソング

※都合により曲目・曲順等が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。  
※会場内は禁煙です。喫煙者・電子タバコ等のご利用はご遠慮ください。※来場者のお子様はご入場いただけません。  
※ご予約後のキャンセル・返金はお受けいたしかねます。

協賛 クラシック名古屋

▶ホテルWEB先行予約 2025.9.10(水) 10:00a.m.～販売開始  
ホテル公式サイトからのご予約はこちら  
▶アイ・チケット予約 2025.9.10(水) 10:00a.m.～販売開始  
Tel.0570-00-5310 https://clanago.com/i-ticket  
▶お電話でのご予約・お問い合わせ 2025.9.17(水) 10:00a.m.～販売開始  
Tel.052-683-4445 (宴会イベント係 10:00a.m.～6:00p.m.)

ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋  
〒460-0023 名古屋市中区金山町1-1-1 Tel. 052-683-4111 Fax 052-683-4121  
www.anacrowneplaza-nagoya.jp

**キリル・ゲルシュタイン**  
藤田真央  
ピアノ・デュオ・リサイタル

12/5(金) 開演 18:45  
(開場 18:00)  
愛知県芸術劇場コンサートホール

料金 全席指定 (税込) S席 15,000円 A席 9,000円 B席 6,000円 U25席 3,000円  
(二軒連席 8/5 10:00～)

チケットの  
お取扱い  
アイ・チケット 0570-00-5310  
e+ (イープラス) https://eplus.jp  
チケットぴあ https://pia.jp  
e+ (イープラス) 052-472-0430  
e+ (イープラス) 052-472-0430  
e+ (イープラス) 052-472-0430

**古澤 巖** Iwao Furusawa  
ベルリンフィルハーモニック  
ストリングス  
Philharmonic Strings Berlin

2025年12月10日(水) 電気文化会館 ザ・コンサートホール  
開場 18:30 開演 19:00 全席指定 ¥10,000(税込)  
主催・お問合せ クラシック名古屋 Tel.052-678-5310 https://clanago.com

**Yuka Asano** 浅野佑佳  
ピアノ・リサイタル

2025.12.17(土) 19:00 開演 (18:30 開演)  
ザ・コンサートホール  
18歳以上

プログラム  
ショパン：ピアノの練習曲 Op.10  
ショパン：ピアノの練習曲 Op.10  
ショパン：ピアノの練習曲 Op.10

**包原麻依子** Maki Kanehara  
シュベルト  
幻想への旅路

2025.12.18(日) 19:00 開演 (18:30 開演)  
ザ・コンサートホール  
18歳以上

プログラム  
ショパン：ピアノの練習曲 Op.10  
ショパン：ピアノの練習曲 Op.10  
ショパン：ピアノの練習曲 Op.10

奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ  
**クラシック名古屋**  
052-678-5310  
名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F



クラシックコンサートのチケットは  
**アイ・チケット 0570-00-5310**  
(11:00～16:00 ※土日祝休)  
**アイ・チケット 検索**

クラシック名古屋のプレイガイド  
「アイ・チケット」  
多くのクラシックコンサートのチケット  
販売から、ホール、座席のことまでオペレー  
ターが丁寧にいたします。  
ホームページからもチケット購入ができる。  
便利なクラシック専門のプレイガイドです。